

わが家のアイドル



みやぎ
宮城 みなみ
平成25年1月23日生まれ
母：麻理子
父：寛雅(宮平)
ニコニコみなみちゃん♥
いつも幸せありがとう!

わが家のアイドルコーナーでは、満3歳までのちびっ子を募集しています。掲載写真はお返します。総務課広報担当までご連絡ください。

☎889-4415

南風原町農友会視察研修

南風原町農友会(農業青年クラブOB、会の目的に賛同する団体及び農業者で構成)では、毎月の定例会のほか、視察研修や共同作業が行われています。今回は、会員相互の農業技術向上と意見交換を目的に、同会員のランや観葉植物、マンゴーの栽培施設を中心に8月7日、視察研修が行われ、終了後には活発な意見交換会が行われました。神里宏会長は「年明けには野菜農家のカボチャやヘチマのほ場視察を行い、より一層の会員相互の連携を図りたい」と抱負を語りました。



ラン栽培の規模の大きさに感心!!

今年も白熱! 津嘉山区民運動会

津嘉山区で8月11日、区民運動会が津嘉山小運動場で開催されました。この運動会は、町陸上競技大会の派遣選手の選考を兼ねていることもあり、毎年白熱した戦いが繰り広げられます。各年齢別対抗で競技が行われ、100mや1,500m、走高跳、砲丸投といった本格的な陸上競技のほか、コールマー競争や綱引きなどさまざまな種目に区民の老若男女が参加。選手たちは精一杯力を出し切り、充実した表情を見せていました。



お揃いのユニフォームで競技に臨むS39年生チーム

ウチナーグチを語り継ぐ 第19回ウチナーグチ大会開催

ウチナーグチのあたたかさや祖先の心にふれ、南風原町の伝統文化に対する理解を深めることを趣旨に、第19回「ウチナーグチ大会」が7月28日、中央公民館で開催されました。小中高生の部に9組11名、一般の部に3名が出場し、日ごろ感じたことや意見をウチナーグチで発表しました。小中高生の部の最優秀賞には、「ぼくの大好きなおじいちゃん・おばあちゃん」という演題で、おじいちゃん・おばあちゃんの戦争体験を分かりやすく発表した翔南小2年の神里航世君が輝きました。航世君と一般の部出場者の野原徹一さんは、9月14日に読谷村鳳ホールで開催される県大会、第19回「しまくとぅば語やびら大会」に出場します。



最優秀賞に輝いた神里航世君(右)

西原シティで「はえばる美瓜」へちまPR販売

8月4日、サンエー西原シティで「たのしく・食育・うつくしく はえばる美瓜はじめました」と題して、南風原町産へちま「はえばる美瓜」の試食販売・イベントを開催しました。イベントでは、へちま大使を務める「Beaury's」のダンス披露、クラウン・コトラさんによるパフォーマンスの後、食育インストラクターの柴山睦子さんによる食育講座を行いました。また、ステージ横ではへちまについてのパネルを展示し、南風原町農村生活研究会の協力を得て多彩なバリエーションのへちま料理を紹介。青果コーナーでは、来客者に「へちま麻婆」と、「美瓜・夏ミネストローネ」を試食してもらいました。町内農家さんは例年に無い干ばつの中、へちまを2,500本も出荷。イベントと共に大盛況に終わりました。



はえばる美瓜のPRにはえるんもお手伝い

はえばる NEWS

はえるん「観光の日」を盛り上げる

8月1日に那覇市の各地で観光月間PRイベントが開催され、沖縄県内のミスやミセス、各地のイメージキャラクターが参加し、イベントを盛り上げました。南風原町からは、緋の女王「ミスブーゲンビリア」の大城紗織さん、「ミセスブーゲンビリア」の松田佳奈恵さん、イメージキャラクターの「はえるん」が参加し、那覇空港での観光客の歓迎式や国際通りでのパレード、パレット久茂地前での観光月間PRイベントにおいて、沖縄県の観光PRと同時に南風原町の観光PRなどを行いました。



各地のイメキャラ大集合

「南風原町まちづくり基本条例(仮称)」を考える住民会議、始まりました!!

町では、「南風原町まちづくり基本条例(仮称)」の制定に向けて、公募による町民の方、役場職員など28人で組織する「南風原町まちづくり基本条例(仮称)」を考える住民会議がスタートしました。8月7日に第1回の住民会議が開催され、委員の方々に委嘱状が交付されました。「南風原町が好きだから、誰もが関心を寄せるような魅力あるまちづくりの提案がしたい」「地域に貢献したい」など、委員の方々から様々な参加動機の声があり、まちづくりに対する意気込みの高さを感じました。



委嘱状の交付を受ける委員

赤嶺松栄さん 母校の南中に本を寄贈

南風原中OB(3期生)の赤嶺松栄さん(宮平)が、母校の発展に寄与したいと、7月18日、同中を訪れ、沖縄に関する本約40冊と寄付金5万円を寄贈しました。赤嶺さんは生徒たちに「人とのつながりを大切に、よりよい学校づくりを続けてほしい」と声をかけました。生徒会長の稲福杏乃さんは「全校生徒とても感謝しています。戴いた本は大切に使い、これからの学習で活用していきます」と感謝の言葉を述べました。



本を寄贈する赤嶺さん(右から1人目)

カンナの花で美しいまちに

宮平学校線の役場前~ちむぐる館の区間に、7月24日、カンナの花が植えられました。この活動は町の景観美化を目的に実施され、植付け作業には町総務課職員や町職労青年部、町社協職員ら約40名が参加しました。本部の「カンナの会」から大城清吉会長らをアドバイザーに招き、区間内の52カ所の植栽マスに208本のカンナが植えられました。青年部の金城爵秀部長は「このような地域活動をとらして、環境美化や、花を見て道路を通行する方の気分が良くなれば嬉しいです」と話しました。



南中前で植付け作業をする参加者ら